

地方での起業・創業を徹底的にサポートします

「観光（ローカル）ビジネス開発塾」企画案

企画主旨

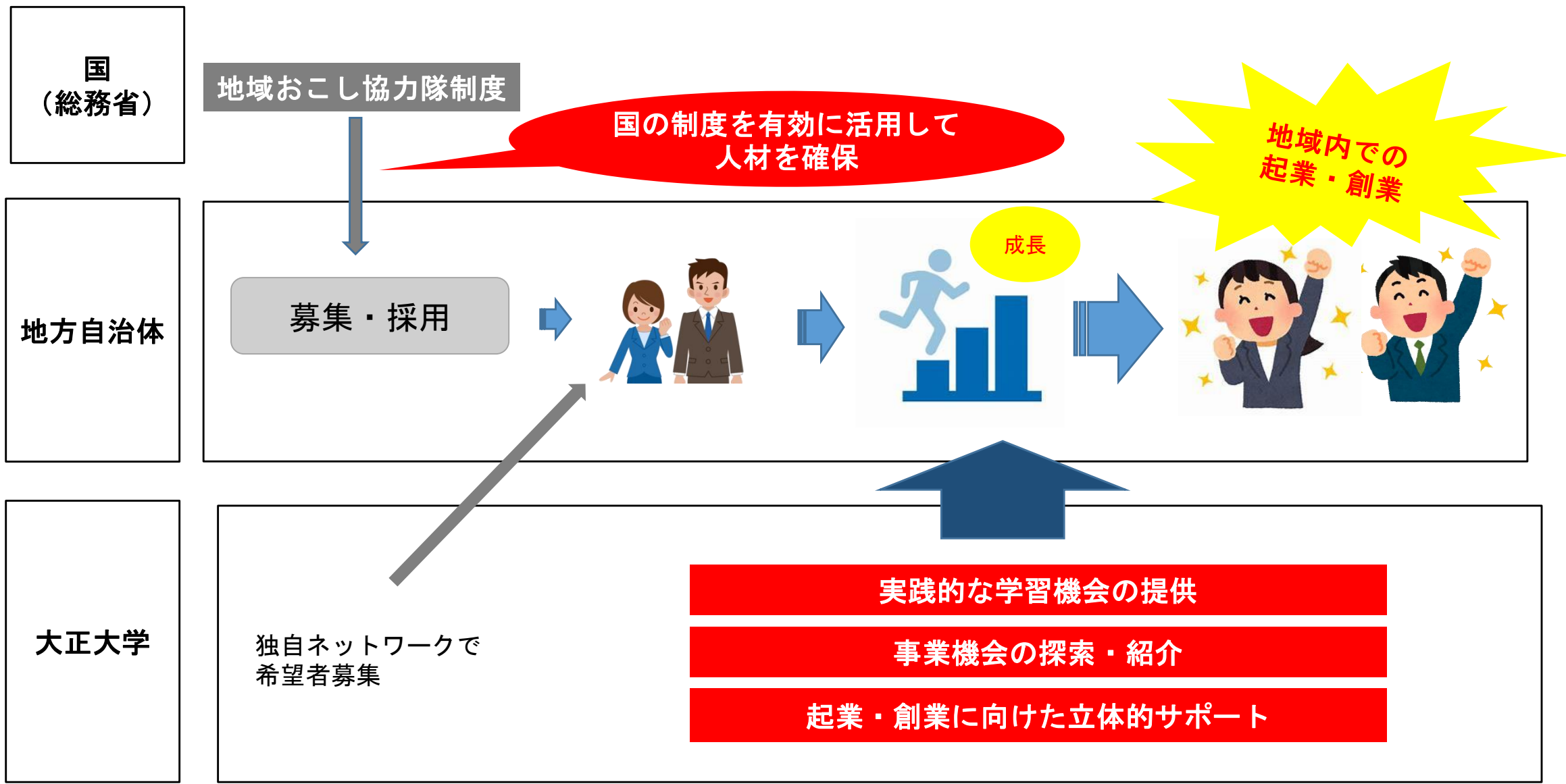
【目的】

地域（ローカル）での起業・創業を目指す人、およびすでに事業を営んでいる経営者を発掘・サポートし、地方における（観光）ビジネスを拡大し、より多くの雇用を創出すること。

【具体策】

大正大学が内外に保有する経営資源を活用し、受講者に起業・創業に必要な知識やスキルを磨く機会を提供するとともに、実践的なマーケティングのサポートや事業案件の紹介を通じて、スピーディかつ確度高く、ビジネス開発（起業・創業・商品開発）に結び付けます。初年度は、大正大学が最も強みを発揮できる「宿経営」および「特産品開発」の2コースを開設します。

本事業の全体スキーム



本事業への参加をご検討いただきたい方

1、「地域おこし協力隊」を新規採用する予定の自治体

- ・平成31年度中に地域おこし協力隊新規採用を計画している。
- ・委嘱機関終了後も、地域に残って活躍できる人材に成長してもらいたい。
- ・起業・創業を視野に入れた意欲の高い隊員を採用したい。

2、すでに地域で活躍中の隊員に、さらなる飛躍のきっかけを提供したい自治体

- ・委嘱機関終了後も、地域に残って活躍してほしい。
- ・域外ネットワークを強化して、地域にもっと貢献してほしい。」

3、現在、観光ビジネス（宿・特産品開発）を営んでいて、更なる拡大を目指している経営者

- ・宿泊業を営んでいるが、生産性や人材確保に課題を抱えている。
- ・特産品で新しいヒット商品を生み出したい。

4、地方で起業・創業したいと考えている個人（学生も可）

- ・現在、都市部に住んでいるが、地方生活に興味があり、移住も選択肢の1つに入っている。
- ・チャンスがあれば起業・創業したいと思っている。

各コースの特長

【宿経営コース】

- ・ 宿泊業で成功している経営者（社長）からダイレクトに成功の秘訣が聞ける
- ・ 実地で、宿実務を体験できる
- ・ 事業承継案件、良質な物件の紹介が受けられる可能性がある ※紹介を保証するものではありません

【特産品開発コース】

- ・ 実際に試作品の製造ができる
- ・ 東京（銀座、巣鴨）でのテストマーケティング（販売）ができる
- ・ スタート時から大手流通と取引できる可能性がある ※取引を保証するものではありません

各コースのプログラム概要および日程（仮）

【宿経営コース】

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
【2コース共通】 10月4日（金）	10月18日（金）	11月14日（木）	12月5日（木）	1月16日（木） ～17日（金）	【2コース共通】 2月13日（木）	【2コース共通】 3月19日（木）
キックオフ 14：00～17：00 基調講演 ● 地域で起業・創業するということ	第一部 10：30～13：00 宿泊業概論（マーケット環境、ビジネス機会、経営の要諦等） 第二部 14：00～16：30 旅館の経営者として大切なこと（楽しさ、やりがい、難しさ等）	第一部 10：30～13：00 宿泊業の実務（接客、調理、清掃・・・） 第二部 14：00～16：30 宿泊業の数字（稼働率、原価、人件費・・・）	第一部 10：30～13：00 宿泊業のマーケティング（集客戦略、ブランドづくり、SNS活用等） 第二部 14：00～16：30 組織活性・人事関連（採用・育成・定着・生産性向上等）	実地研修（インターンシップ） 於：千葉・新潟	第一部 10：30～13：00 資金計画・資金調達 第二部 14：00～16：30 経営計画の策定	卒塾式 13：00～17：00 事業プラン発表大会 ※金融機関参加予定

各コースのプログラム概要および日程（仮）

【特産品開発コース】

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
【2コース共通】 10月4日（金）	10月17日（木）	11月15日（金）	12月13日（金） ～14日（土）	1月16日（木）	【2コース共通】 2月13日（木）	【2コース共通】 3月19日（木）
キックオフ 14：00～17：00 基調講演 ● 地域で起業・創業すること	第一部 10：30～13：00 特産品開発概論① （事業特性、事業機会、参入条件、衛生関連等） 第二部 14：00～16：30 特産品開発概論② 原料・材料選択、調達等	第一部 10：30～13：00 加工品流通の仕組み（全体の流れ、棚取り等） 第二部 14：00～16：30 商品企画（商品の仕様、ネーミング、パッケージデザイン等）	試作品製造（千葉県松戸工場）	第一部 10：30～13：00 マーケティング① マーケティング基礎、デジタル、SNS活用等） 第二部 14：00～16：30 マーケティング② 人を集める仕掛け、売り場づくりの秘訣等	第一部 10：30～13：00 資金計画・資金調達 第二部 14：00～16：30 経営計画の策定	卒塾式 13：00～17：00 事業プラン発表大会 ※金融機関参加予定

本事業の特徴（受講メリット）

●自治体の負担が少ない

- ・国からの財政的支援が受けられる「地域おこし協力隊」の活用を基盤に考えることで、各自治体予算の直接的な負担を軽減できます。
- ・大学サイドでも独自に受講者（事業者候補）募集・発掘を行います。参加自治体地域へのUIJターンの可能性が高まります。

●地域おこし協力隊のいっそうの戦力化が実現（協力隊のモデルケースができる）

- ・委嘱機関終了後も地域に残って活躍する可能性が高まります。
- ・地域おこし協力隊 → 地域内での起業・創業というモデルケースができます。また、先進的な取り組みをしている地域として注目されます。

●スピーディーかつ確度の高い起業・創業が実現

- ・単なる座学ではなく、実践的なトレーニングを含んだプログラムになっています。
- ・起業・創業に向けた手厚いサポート（テストマーケティング、案件紹介・・・）を用意しています。

●大正大学（および関係者）の継続的なサポートを受けられる

- ・起業・創業にさいしては、大正大学としての経営参画（出資）も検討します。
- ・受講終了（起業・創業）後も継続して、大正大学や講師陣のサポートが受けられます。

講師陣（2コース共通）

専門

地域での起業・創業支援
商品開発

●寺本英仁（てらもと えいじ）

島根県邑南町役場（スーパー公務員）
／総務省地域力創造アドバイザー



1994年 東京農業大学卒業
島根県石見町役場（現邑南町役場）に入庁。A級グルメの仕掛人として、通販サイト「みずほスタイル」、イタリアンレストラン、食の学校、耕すシェフの研修制度を手掛ける。A級グルメ構想の取組みを全国に広げていくため、2018年、思いを共有する4つの自治体と「にっぽんA級（永久）グルメのまち連合」を設立。
現在は総務省地域力創造アドバイザー。
「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」でスーパー公務員として紹介される。

専門

観光マーケティング
観光地経営（DMO）

●村橋 克則（むらはし かつのり）

大正大学 地域構想研究所 教授
一般社団法人 せとうち観光推進機構
事業本部長



株式会社リクルートにて「じゃらんネット」の対上げや各種メディアの編集長を歴任。編集局長、事業部長を経て、2007年に独立。地域活性や旅館・ホテルのマーケティングのコンサルティングを生業とする企業を設立。代表取締役就任。
2016年からは瀬戸内海に面する7県が観光による地方創生を目的に設立した一般社団法人せとうち観光推進機構の事業責任者を務めている。広域DMOの成功事例として多くのメディア等で取り上げられる。2019年4月より大正大学地域構想研究所教授。
本講座の全体コーディネーター役

講師陣（2コース共通）

専門

経営計画
資金調達

●篠崎 研一（しのざき けんいち）

第一勧業信用組合 連携企画部
部長



1987年4月第一勧業銀行（現みずほ銀行）
に入行し、約20年弱は主に営業店で
法人向け融資・外為等のRM業務を担当。

2004年から第一勧業信用組合に出向して、経営企画部門
で経営計画策定、決算業務、有価証券等の運用を担当し、
その後同組合で創業支援事業を統括しスタートアップ企
業向けのファンド等を組成。

現在は、主要施策の一つ「志の連携」の企画・推進を所管。
都内の創業セミナー等で、起業家向けの講演等も行う。

講師陣（宿経営コース）

専門

旅館・ホテル業界全体
宿泊業の人材マネジメント

●井門 隆夫（いかど たかお）

株式会社井門観光研究所 代表



1985年日本交通公社（現JTB）入社。
その後、ツーリズム・マーケティング研究所
主任研究員を経て、2010年に独立。
株式会社井門観光研究所を設立。観光地の旅館や住民を
まとめ、「日本版のオプションツアー」である着地型観
光の体制づくりや旅行業務取扱管理者の取得、様々な商品
企画や販路開拓を支援・指導している。

20年の旅行業経験や10年にわたる旅館事業再生の現場を通
して見てきた旅館は1,000軒以上。独自の知見とノウハウ
を持つ「旅館業を知り尽くした観光専門家」。
旅館業と地域との連携を通じて、新時代に対応した「地域
の仕組みづくり」の実践を支援している。
2011年より関西国際大学で後進の指導にあたり、現在は
高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授。

専門

観光マーケティング
宿泊業の組織マネジメント

●沢登 次彦（さわのぼり つぐひこ）

株式会社リクルートライフスタイル
じゃらんリサーチセンター センター長
とーりまかし編集長



1993年4月株式会社リクルート入社。
教育機関広報事業部を経て2002年10月に
国内旅行事業部へ。関東近郊観光地のエリアプロデューサー
として地域活性に携わる。2007年4月より現職。
ローカルブランドの価値向上や宿泊業における働き方改革
などに力を尽くしている。
観光庁をはじめ中央省庁や地方自治体の各種審議会委員、
講演・研修等を務める。

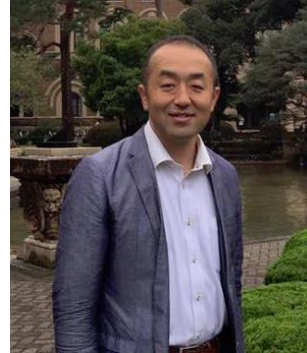
講師陣（宿経営コース）

専門

旅館経営、食の開発
旅行商品開発、人材教育

●井口 智裕（いぐち ともひろ）

一般社団法人 雪国観光圏 代表理事
株式会社 いせん 代表取締役
株式会社 龍言 代表取締役



旅館の4代目として家業を継ぐ。
その後2005年に社長に就任し、「湯沢
ビューホテルいせん」を「越後湯澤
HATAGO井仙」として大幅リニューアル。開業1年で各種
メディアに取り上げられる繁盛旅館に変革。
2008年には周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」を
プランナーとして立ち上げ、事業推進に尽力。2013年には
観光地域づくりプラットフォームである一般社団法人
雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。観光品質基準、
人材教育、旅行商品開発、CSR事業など地域づくりの
中核組織の推進を行っている。
企業経営者としての第二創業や人材育成、また事業者として
携わる観光地域づくりなど幅広いジャンルで講演などの実績が
ある。

専門

旅館経営
宿泊業の財務・経理

●蛭田 憲市（ひるた けんいち）

株式会社 紀伊乃國屋 代表取締役
一の宿倶楽部 会長



祖父の代から始めた2部屋の民宿を
継ぎ、サービスの充実、従業員の
ホスピタリティ向上、経営数字の
見える化などを徹底し、一代で
人気旅館に。現在は4軒の旅館を経営。
今夏に5軒目をオープン予定。
また、全国の小規模旅館20軒が共同でマーケティング活動
や従業員教育を行うために組織している「一の宿倶楽部」
で会長を務めている。

講師陣（宿経営コース）

専門

旅館・ホテルの販売促進
SNSを活用したマーケティング

●篠塚 孝哉（しのづか たかや）

株式会社ロコ・パートナーズ代表取締役



1984年生まれ、2006年に東洋大学
経済学部を卒業後、Washington State
Universityへ留学、帰国後、2007年に株式会社リクルート
に新卒にて入社。旅行カンパニーに配属。2011年9月に
株式会社Loco Partnersを創業し、代表取締役に就任。
じゃらんや楽天といった大手がしのぎを削る宿泊予約サイ
トの領域で、特化したサービスと独自のマーケティング手
法によって、業績を伸ばし続けている。

著書：整理の習慣（かんき出版）

メディア出演歴：産経新聞、日経新聞、テレビ東京、日経
アソシエ、など

講師陣（特産品開発コース）

専門

「食」と「農」のマーケティング
農業の六次化

●鳥巢 研二（とす けんじ）

株式会社キースタッフ元代表、
株式会社エクセレントローカル代表

食と農をマーケティングする
（株）キースタッフ代表取締役。
中小企業診断士。

1978年、大学卒業後、味の素（株）
入社。1993年、中小企業向け経営コンサルタント業
開始。2000年、（株）キースタッフを設立。全国の
農業者・漁業者、小規模商工業者向けに農産加工食品を
開発・支援したり、食と農のセミナーなどで地域活性化
を支援したりするコンサルティング活動を展開。とくに
農産加工食品の企画開発、製造技術講習、経営に関する
指導要請に積極的に対応している。



専門

特産品開発
加工品流通

●金井 毅（かない たけし）

株式会社 電通
ビジネスクリエーションセンター
エグゼクティブディレクター

1983年 電通入社。主に営業部門で
飲料関連ブランド構築や新製品開発、
インキュベーション室で販売促進の新規プロジェクトを
推進し2012年から現職。日本スーパーマーケット協会
「次世代販促セミナー」講師、安曇野市観光振興ビジョン
策定委員などを務める。福島県の農産物や宮城県の水産加
工品の風評被害対策・販路開拓にも尽力。



講師陣（特産品開発コース）

専門

デジタルマーケティング
地域ブランディング・特産品販売

●倉重 宜弘（くらしげ よしひろ）

ネイティブ株式会社 代表取締役

富士総合研究所（現みずほ情報総研）を経て、2000年よりネットイヤーグループに創業期から参画。15年以上に渡って、大手企業のデジタルマーケティングや、ブランディング戦略の立案、ウェブサイトやデジタルコンテンツの企画・プロデュースなどに数多く携わる。同社の関連会社の役員・事業部長などを歴任。2012年4月の地域振興やブランディングを目的としたデジタルメディア事業「北海道Likers」を皮切りに、2013年「沖縄CLIP」、2014年「瀬戸内Finder」を手掛る。

2016年3月にネイティブ株式会社を起業して独立。

2018年7月2日に創設された、一般社団法人 全国道の駅支援機構の理事長に就任し兼務。



専門

デジタルマーケティング
地域ブランディング・特産品販売

●金山 宏樹（かなやま ひろき）

株式会社シカケ 代表取締役

2012年5月 島に戻り道の駅運営会社に入社。

EC事業部を経て2014年6月より飲食事業部の取締役就任。会社の業績を新規事業なしで4年間に181%伸ばした実績から、全国からの視察が絶えない観光施設になっている。

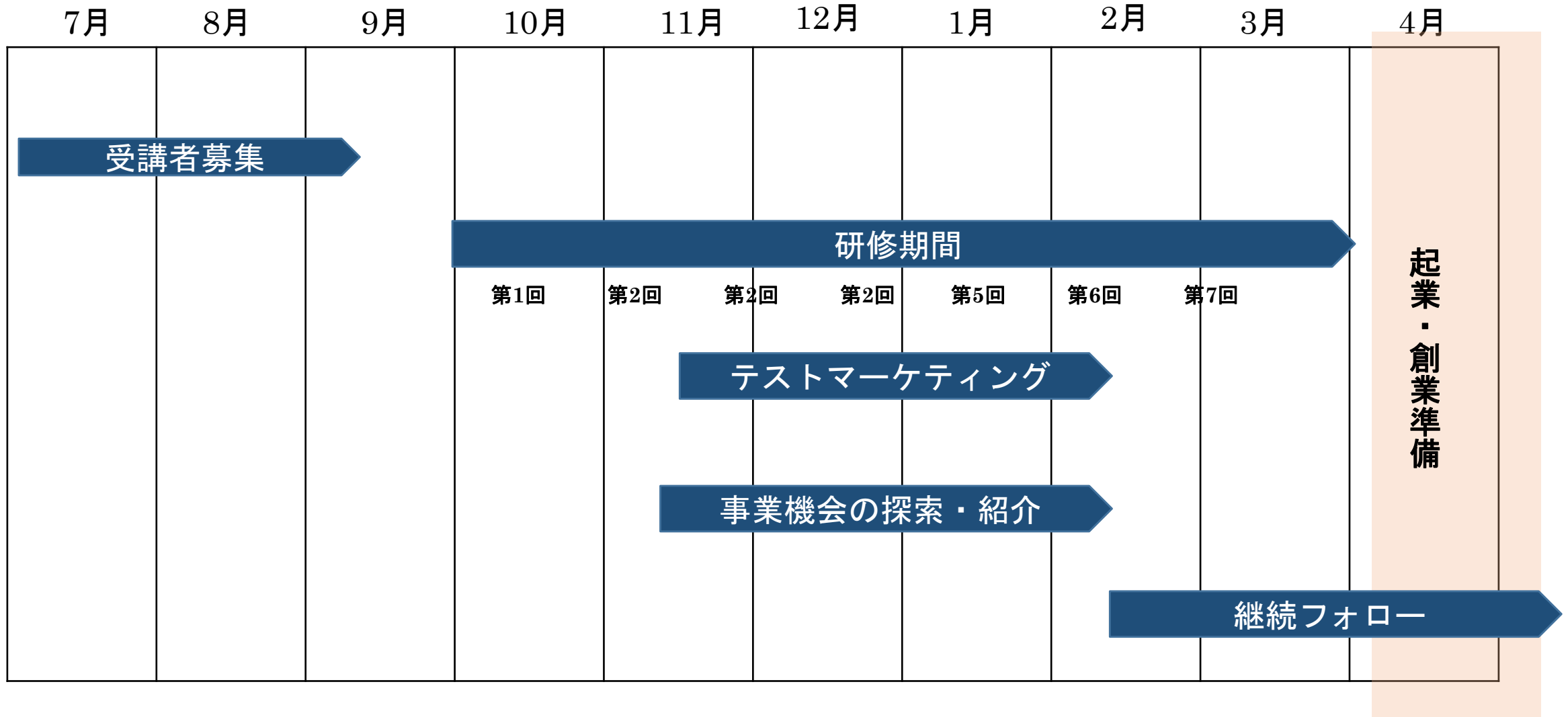
2017年7月同社を退社。ブランディング、集客をしたい全国の自治体、施設を支援するため株式会社シカケを設立。

「行きたくなる」飲食店の仕掛け、「買いたくなる」お買い場づくりの手法を
レクチャーするセミナーやコンサルティングを全国で多数実施中。

内閣府 地方創生推進事務局「地域活性化伝道師」
農林水産省「6次産業化プランナー」



スケジュール



費用その他

【募集人数】 10名（各コース 5名程度）

※受講希望者が極端に少ない場合は、開催を見送ることがあります。

【費用】

1名 100,000円（税別）

本費用には、カリキュラム（全7回）受講費、会場費、関連資料費が含まれます。

※その他、受講会場までの交通費、宿泊代等は各自治体（個人で参加の場合は本人）のご負担となります。

※「特産品開発コース」における試作品製造の原材料は各自治体もしくは個人での調達をお願いします。

※パソコン、筆記用具等は各自でご持参下さい。

※第1回開催時および最終回終了後に懇親会を予定しています（自由参加）。参加費用は参加者をご負担下さい。